

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第6号 平成27年5月9日

達脇 7奪三振完投勝利!

打撃爆発 15安打3HRで勝負を決めた!

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
G	1	0	1	3	1	3	2		11
S	0	0	1	0	1	1	0		3



現在3連敗中の我がゴーヘッドス。ここ最近の打線は、非常に貧打。今日はSCLの2戦目で有るが、投打が絡み無事勝利を出来るか非常に気になるところであった。先攻のゴーヘッドス、1番哲也が左中2で出塁、2番・3番は倒れたが、今日4番に入った朝が先制適時打をセンターに打ち1点を先制した。その裏、マウンドに上がった達脇は、内安で出塁を許すも、無難に初回を抑えた。3回には、この回先頭の深沢が今期初安打で出塁、その後野手の送球エラーで2塁に進塁、暢造の内安で一死・三塁、ここで暢造の盗塁が捕手の失策を呼びこの間に、深沢が生還、この回は足で得点を重ねた。しかし、その裏、一死後、2球目を強振され、レフト頭上を遥かに越されるHRで1点を失点した。しかし4回、先頭の林が安打で出塁、野手のもたつきの間に二塁到達、次打者は倒れ一死としたが、ここで達脇が自身のバットで失点を取り返す3点目を挙げる2ベースで出塁、次打者は倒れ二死となったが、2番智が3球目を振り抜くと低い弾道は、レフト線を転々、この間に達脇が生還、更には俊足を飛ばし18秒でホームイン、嬉しい入部初のHRを記録、続く深沢も今日2本目を左前に出塁するも後続が倒れチェンジとなったが、この回3点を挙げ展開を非常に有利なものとした。続く回には、先頭の暢造が初球を振り抜くと、ぐんぐんと打球は伸びセンター頭上を越す、この間に悠々とベール一周、こちらも嬉しい入部初のHRを記録した。翌6回には、先頭哲也が四球、その後2盗を決め、場面は一死二塁、ここで今日2本放っている深沢が、猛打賞を記録する右線2で哲也を迎え入れる。そして、先制の適時打を放った朝が、自身通算5本目となるHRで2点追加、最終回にも、3本の長短打と失策を絡め2点を追加し、リーグ対戦成績を五部に戻した。達脇も与四球は、4回の2個のみ、更には久々の奪三振ショーを記録し勝ち投手を記録した。今日を振り返ると、何と言っても打線。チーム記録18に迫る15安打、更にはタイ記録を記録した3本のHRだろう。失策に関しては、3つと同等数であったが、その失策もチームで吸収し、失点に繋がったのは1回のみ、という内容。まー、こんな事はしょっちゅう起きる事では有りませんが、気持ちとして、今後も目指す方向として捉えたいですね。最後に、大量得点の中でも、きっちりエンドランを決めた林は、今日一番のチームプレーだったと感じます・・・